

令和7・8年度
中央公民館大ホール舞台照明設備LED化
改修事業 仕様書

令和8年2月
宇美町教育委員会 社会教育課

1 事業名

令和7・8年度 中央公民館大ホール舞台照明設備 LED化改修事業

2 事業箇所

宇美町立中央公民館 大ホール

※図面については「別紙 関連図」のとおりとするが、その他範囲の図面の確認が必要と判断される場合は、現地確認の際に提示するものとする。

3 事業対象施設概要

【名称】宇美町立中央公民館

【所在地】糟屋郡宇美町平和一丁目1番1号

【建築年度】昭和53年度（増築年度：平成10年度）

【建築面積】1,150.07㎡

【延床面積】1,909.09㎡

1階 1,096.91㎡

2階 749.75㎡

PH階 62.43㎡

【構造】RC造

4 契約期間

契約締結日の翌日 から 令和9年3月23日（火） まで

※本件は、宇美町議会の議決に付すべき契約条例（昭和39年4月1日条例第19号）に基づき、宇美町議会の議決を必要とする契約であるため、契約締結日は議決日とする。

5 事業等内容

事業等内容は次のとおりとする。

- (1) 舞台照明設備全般に係る構築
- (2) 負荷設備（照明器具）更新
- (3) 調光装置・操作卓更新
- (4) 機構装置更新
- (5) 電源配管配線
- (6) 調光等調整
- (7) 施工監理・進捗管理

※本プロポーザルに含まれない提案内容は、次のとおり。

- ・今回の事業で整備する舞台照明設備の保守業務
- ・仕様書記載の舞台照明以外の一般照明（蛍光灯 等）

6 事業等詳細

(1) 舞台照明設備全般に係る構築

- ・本事業に係る構築内容（調光装置・操作卓・照明器具・機構装置・配線・運用方法 その他）を提案すること。
- ・構築費用や今後の運用に対する労力、保守費用を考慮した内容とすること。
- ・誰もが簡単に調光を操作することができる仕組みについて考慮すること。
- ・今後のメンテナンスに考慮した構築内容とすること。

(2) 負荷設備（照明器具）更新

- ・更新器具はすべて調光が可能なLED照明器具であること。
- ・ Horizontライトはフルカラー発色が可能な器具を選定すること。
- ・以下記載器具（既存器具）を参考とし、現地確認を実施した上、施設の現状に沿った適切な提案を行うこと。

【舞台用照明器具】

- ・ローアーホリゾンライト
- ・アッパーホリゾンライト
- ・ボーダーライト
- ・第1サスペンションライト
- ・第2サスペンションライト
- ・フロントサイドスポットライト（上手・下手）
- ・シーリングライト
- ・ピンスポットライト

【客席用照明器具】

- ・スポットライト（1階・2階）
- ・ダウンライト（1階・2階）
- ・ブラケット

【その他】

- ・各種フロアコンセント類、コネクタ類、ケーブル類 等

(3) 調光装置・操作卓更新

- ・（2）で選定された照明器具が安全かつ確実に動作する調光装置を選定し、また、安定した調光操作が可能な構築を提案すること。
- ・様々な演出やシチュエーションに対応可能かつ利用者が安易に操作可能な調光卓について提案すること。
- ・調光卓は、シーン等が保存できる機器を選定し、提案すること。

(4) 機構装置更新

- ・ (2) で選定された照明器具の重量に対応でき、安全に運用が可能な吊物機構装置を提案すること。
- ・ 安易に操作が可能な吊物機構装置用操作盤への更新について提案すること。
- ・ 以下記載設備を参考とし、現地確認を実施した上、施設の現状に沿った適切な提案を行うこと。

【機構装置】

- ・ アッパーホリゾンライト用 昇降設備
- ・ ボーダーライト用 昇降設備
- ・ 第1サスペンションライト用 昇降設備
- ・ 第2サスペンションライト用 昇降設備
- ・ シーリングライト用 昇降設備

(5) 電源配管配線

- ・ 原則、一次側、二次側の配管配線は既設流用とするが、現地確認の結果、更新、増設が必要な箇所が生じる場合は、提案に含むものとする。
- ・ アース線、制御線は必要に応じて新規配線を行うものとする。

(6) 調光等調整

- ・ 本施設の現状、特性、規模を踏まえ、更新した照明器具の効果を遺漏なく発揮するための調整を実施すること。

(7) 施工管理・進捗管理

- ・ 本施設の現地調査や設備の構築にあたり、作業計画を策定の上、書面により町に提出し、承認を受けること。
- ・ 契約締結後、物品調達期間を設け、着工（現場入り）については、令和9年1月10日（予定）に実施される「宇美町二十歳のつどい」終了後とすること。
- ・ 作業日程や内容については、町と調整を行うこと。

(8) その他

- ・ 本事業（照明のLED化等）を実施することにより得られる効果（二酸化炭素排出量や維持管理コストの低減など、脱炭素化に関するもの）について、具体・数値化、解析等を行い、内容をまとめた資料（冊子等）の作成を依頼する場合がある。